

第16回 鹿児島県障害者スポーツ大会

新型コロナウイルス
感染予防対策について

厚生労働省がイベント運営指針と示している「新型コロナウイルス感染症対策のスポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト」を参考とし、以下の対策を講じて大会を運営します

1. 「3密」の回避

*「密閉」しない

- 競技会場は、出入口・非常扉・窓等を適宜開放し、会場の換気を図る。
- 換気が不十分な会場では、送風機・空気清浄機を設置し、換気を図る。

*「密集」しない

- 受付・メダル受渡所・招集所など混雑が予想される場所は、予め人数制限や混雑緩和の工夫をする。
- 入場待機スペースでは、人との間隔(2m(最低1m))を確保するため、目印やパーテーションを設置する。

*「密接」しない

- 人と人が対面する場所はアクリル板、ビニールカーテンなどを設置する。
スタッフは**不織布**マスク・フェイスシールド・手袋の着用など対策を取り対応する。



2. 主催者側の配慮事項

* 危機発生時の連絡体制組織図を作成:

感染症対策の責任者・組織図・フローチャートを作成する。

* 個人情報取得:

感染者が確認された場合を考慮し、各選手団の代表者は参加者・関係者の個人情報
を把握・管理するよう通知する。各選手団の代表者連絡先は主催者側で管理する。

* スタッフの衛生: 大会前後2週間の体調管理表の記入。

不織布マスクやフェイスシールドの着用, 手洗い手指消毒の徹底を図る。

* ごみの廃棄: ごみを回収するスタッフは、マスクや手袋を着用する。

* 医療体制: 看護師を各会場2名配置する。

* **隔離スペース**: 大会開催中に選手・選手団代表者・役員等が体調不良を訴え感染が疑われる場合は、隔離スペースに誘導。医師又は看護師の指示のもと、保健所や医療機関に連絡し指示を仰ぐ。

3. 来場者への注意事項 〈選手・選手団代表者・役員等〉



- * 来場者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせてください
 - 1. 体調がよくない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 2. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 3. 過去14日以内に政府から入国制限, 入国後の観察期間を必要とされている国, 地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

***マスクの着用:**来場者には不織布マスクの着用を義務付ける。

選手は、競技中やアップ中は必要最小限の範囲においてマスクを外してよいこととするが、身体的距離(2m)の確保を行うよう依頼する。また、会話を
する際はマスクを着用する。

競技役員やスタッフは、原則不織布マスク着用とする。



***体温検査:**入口でのサーモグラフィー等による検温の実施又は、スタッフによる非接触型体温計を使用した体温検査を実施する。(37.5℃以上の方は入場を断る。)

***手の消毒:**非接触型アルコール消毒器や消毒ボトル, 除菌ペーパーなどを要所に設置する。選手待機所には各選手団でご準備ください

* **マナー注意喚起**: 咳エチケットや不織布マスク着用など、マナーについて口頭での説明及びサイン看板で来場者に対し注意喚起を行う。また、大声での会話、応援は行わない。

* **選手待機所・観覧席など来場者の待機について**: 「3密」を防ぐため、**長時間待機をしないこと**、身体的距離の確保を行うこと、競技招集時間の事前確認を周知し、競技準備から出場を考慮した時間での来場及び、競技終了後の速やかな退場を行う。

観客席の利用者は、他の利用者と身体的距離の確保を行うこととし、担当スタッフ(**会場衛生係**)による、観客席の見回りと除菌・消毒等を実施する。

* **位置取り**: 待機席では可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、斜め後方に位置をとること。

* **表彰について** → すべての競技において表彰式は行わない。

4. 会場衛生管理について



* 他人と共用する物品等は接触回数の削減に努める。

特に高頻度で手が触れる場所＝**ハンドポイント(ドアノブ・手すり等)**は、担当のスタッフ(会場衛生係)を配置し、30分に1回の見回りと除菌・消毒等を実施する。



* 会場内における飲食の制限

飲み物については、熱中症対策として競技場内での摂取を可能とする。

また、弁当や軽食については、**競技場外でのみ認める**こととし、対面は避ける。多人数での食事とならないよう身体的距離の確保に努めるとともに、会話は控え、黙食に努めるよう周知する。飲食物のゴミは感染予防のため原則、各自で持ち帰る。

5. 体調管理表について

* 来場者(選手・選手団代表者・役員等)及びスタッフは、大会期日2週間前から毎日体温の記入と体調についての項目をチェックし、大会当日の記入が終わったものを各選手団代表者に必ず提出する。各選手団代表者は、それぞれ個人の体調管理表を確認する。大会本部への提出の必要はない。大会終了後2週間、各選手団で保管する。

体調管理表のチェックポイント

1. 過去 2 週間以内に37.5℃以上の発熱がないこと
 2. ②～⑨の項目すべてが「○」であること
 3. 体調管理期間内において発熱等の症状があった場合は、原則参加を認めないが、医師による診断書等で新型コロナウイルス感染の陰性を証明できる書類がある場合は参加を認める。
(診断結果後の発熱等は参加を認めない。)
- 1.2.3のチェックポイントを代表者は必ず確認する。

※一つでも条件を満たさない場合は、大会当日の来場を控え、棄権者届を提出する。大会終了後も2週間体調管理表を続けてください。

最後に...

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対応、内容を変更することがあります